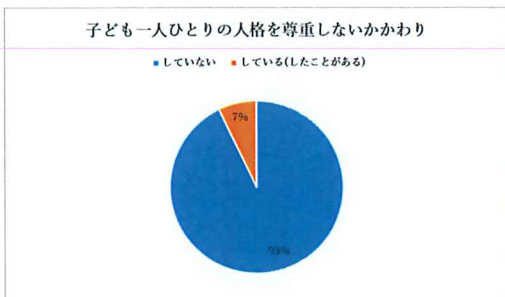


令和5年度 青空保育園 自己評価表

令和5年度 保育士24名に対し全国社会福祉協議会から出ている「人権擁護のためのチェックリスト」を利用しました。「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について保育を振り返り自らの保育の質を高める為、自己評価を行っています。チェックリストに掲載されている、している（していたことがある）は、今年度だけでなく逆のぼっての評価となっています。

1. 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかわり

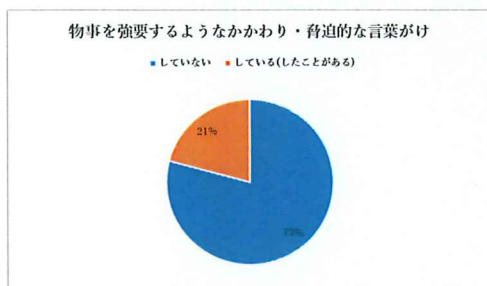
No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかわり	している	していない (していたことがある)
1	登園時	朝、母親に抱かれて、なかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける	24	0
2	日中	製作活動で子どもが書いた作品をみて、「そこ違うよ。もう一枚書いてみる?」とだけ言って、書き直すように働きかけた。	24	0
3		排泄失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉かけをする。	24	0
4		子どもが、友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に責めるような言葉かけをする。	24	0
5		子どもが保育者に話しかけた際、「今忙しいから後にして」と言う。	19	5
6		苦手なことを渋っている子に、「早くやって。できないなら後ろに行って」と言ったり、他者と比較したりなど否定的な言葉かけをする。	22	2
7	昼食時	食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューをすべて配膳せず、食べたらずのおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。	19	5
8	降園時	お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友達を泣かせてしまいました」と他の保護者にも聞こえるように言う。	24	0
9	その他	子ども同士のトラブルが起きたとき、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。	24	0
10		自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。	19	5



- ・子どもたち一人ひとりをよく見てその子の性格を把握し関わるようにしています。良い所をたくさん見つけ、その部分をほめるようにし、それをきっかけに新たな面を伸ばしていけるようにしています。
- ・（排泄）失敗しないようにと必要以上に声を掛け過ぎてしまうことがありました。できるだけ子どもたちの意思を尊重するよう気をつけていこうと思います。
- ・（食事）4月当初は、クラスや担任も変わったり新入園児も入ることからスープは後にしてしまうこともありましたが、それ以降は食事の際全部テーブルにのせるようにしています。（未満児クラス）
- ・保護者の方や職員の引継ぎの際など、待たせてしまうこともるので、「待たせてごめんね」「お話終わったら聞くんね」など安心できるような言葉かけをするようにしていこうと思います。

## 2.物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけ

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	している	していない (していたことがある)
1	日中	集団行動をするための言葉かけをした際、言葉かけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける。	12	12
2	昼食時	ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、ほかの子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。	24	0
3	午睡時	なかなか寝付けずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事が出来ないんだよね」と言う。	24	0
4		寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする。	15	9
5	その他	どなったり、「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの（鬼等）を使ったりして、子どもの保育者の思い通りに動かそうとする。	20	4

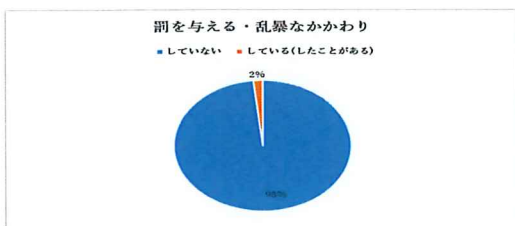


・脅迫するような言葉かけではないが、「〇〇しないと〇〇できないよ」と言うこともあるので、今それをしないといけない理由をしっかりと伝え（寒いから上着ようね等）子どもたちが納得できる話し方をしていこうと思います。

・子ども自身が考えて行動できるような関わり方を常に考えていきたいと思います。  
 ・午睡時、隣同士で寝ずに会話を楽しんでいたりと、隣にいる子にちょっかいを出してしまう子に、体を休める大切さや周りに迷惑がかかってしまうことなど伝えているが、数回伝えても遊び始めてしまう園児に対して、寝やすい環境を整えようとしてベッドを移動させてしまうことがありました。分かりやすく話したり、関わり方を変えて接していこうと思います。

## 3.罰を与える・乱暴なかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	している	していない (していたことがある)
1	日中	子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。	24	0
2		並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待たず、腕を掴んで引っ張る。	23	1
3		子どもを注意する際に、「だめよ!」と言って子どもの手を叩く。	24	0
4	午睡時	なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押しえつけ、パンパンと強く布団を叩く。	24	0
5	その他	保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。	23	1



・暴力はあっていけない事だと思うので、今後も一人ひとりの人権を尊重しながら丁寧な関わりをしていきたいと思っています。

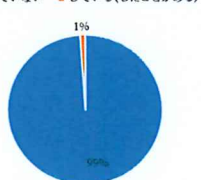
・絵本の読み聞かせなどの際、保育室を走り回っていたりふざけ合う園児に対し声掛けや手遊び、歌などこちらに興味を持てるような関わりはしていたが、周りの子ども達に迷惑がかかってしまう様なときは、別室で他職員に協力してもらったこともありました。罰を与えるつもりはなくても、子どもにとっては不適切な保育に当てはまる為、もっとわかりやすい声掛けや興味がひける物を用意したり工夫したいと思っています。



#### 4. 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	している	していない (していたことがある)
1	降園時	いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「〇〇ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。	24	0
2	その他	登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に、子どもに「また〇〇君のお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」など否定的な言葉がけをする。	23	1
3		いつもぎりぎりの時間にお迎えにくる保護者に「いつもぎりぎりですね」と言ったり、保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。	24	0
4		「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち『全員』に発表してもらう。	24	0

一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり

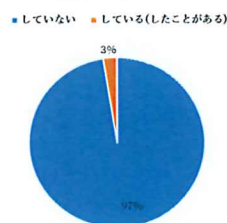


- ・育ちや家庭環境は非常に大事ではあるので、それをしっかりとふまえて、丁寧に関わるようにしています。
- ・保護者とも積極的なコミュニケーションをとり、子どもの様子や保護者の事情を理解していけるように努めていきたいと思っています。

#### 5. 差別的なかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	している	していない (していたことがある)
1	登園時	挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。	24	0
2	日中	いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉使いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。	23	1
3	昼食時	少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、はじめから非常に量を少なくして配膳する。	22	2
4	午睡時	寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。	24	0
5	降園時	クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になっちゃうよ」と言う。	24	0

差別的なかかわり



- ・男の子は～だ、女の子は～だという意識に気をつけていこうと思います。
- ・小食の子に対して、自分で言うことが難しい年齢の子は、全部食べた満足感、達成感が味わえるよう調整していることがあります。以上児クラスや自分の意思を伝えられる子は、子供の意見を尊重するよう必ず聞くようにしています。

#### <総評>

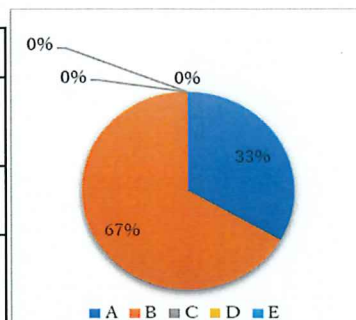
・令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類へとなり、行事等もコロナ前の対応へと少しずつ戻し異年齢交流をすることが出来ました。今回の自己評価は昨年度も行っているの、子ども達への言葉かけや対応を意識しながら保育を心掛けていきました。日々の何気ない言葉かけや仕草、行動が子どもの自尊心を傷つけてしまったり、自主的な行動の妨げになることもあるので、信頼関係を築き子どもの気持ちや状況に配慮したかかわりを意識して保育を行いたいと思います。またアンケートで終わらせることがないように、今後の保育に役立てていけるようにしていきたいと思っています。

## 青空保育園 自己評価表

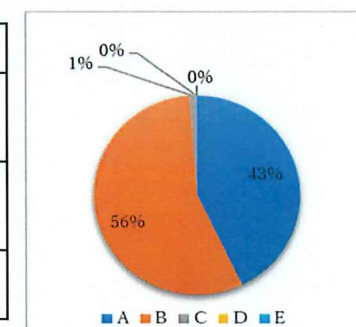
※令和5年度、職員28名に対し日々の保育を振り返り、保育の質を高めるため自己評価をしています。  
担当クラス以外の設問について該当なしにチェックがついている項目もあります。

Aかなりできている : Bほぼできている : Cあまりできていない : Dほとんどできていない : E該当なし

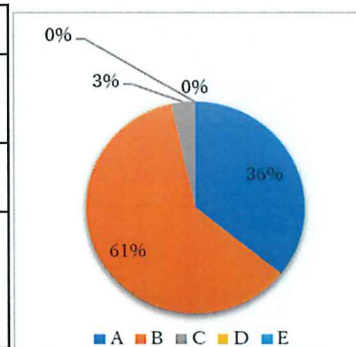
<b>1章 総則</b>
1. 保育園は、入所している子どもの最善の利益を考慮し、心身ともに健やかに育てる責任があることを理解していますか。
2. 保育の目標に基づいて保育をおこなっていますか。
3. 子ども一人ひとりの人格を尊重した保育をおこなうとともに保育士自らの人間性や専門性の向上に努め、豊かな感性と愛情をもってほいくしていますか。



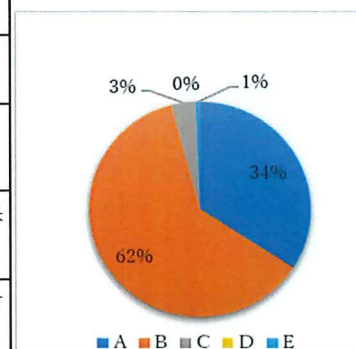
<b>2章 子どもの発達</b>
1. 乳幼児期は生涯にわたる「生きる力の基礎」が培われる時期であることを理解して保育していますか。
2. 子どもの発達は、豊かな心情・意欲・態度を身に付け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか。
3. 子どもの発達の特性や「発達過程」を理解し、発達の連続性に配慮して保育をしていますか。



<b>3章 保育の内容</b>
1. 保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」から構成されていることを理解していますか。
2. 保育所保育は、「養護」と「教育」が一体化となって展開されることに留意していますか。
3. 養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士が行う援助や関わりのことであり、教育は、子どもが健やかに成長しその活動が豊かに展開されるための発達の援助であることを理解していますか。



<b>(1) 養護に関わるねらい・内容（生命の保持及び情緒の安定）</b>
4. 朝の健康観察を丁寧におこなったり一人ひとりの平常の健康状態や発育及び、発達状態を的確に把握していますか。
5. 子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全・安心な保育環境を心掛けていますか。
6. 子どもとの温かなやりとりやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか。
7. 保育士等の温かい受容的な雰囲気や関わりが、子どもの自信や自己肯定感に育むことを理解して保育していますか。
8. 「早くしなさい」など、せかす言葉を不必要に使わず、一人ひとりの発達過程に合わせた柔軟な対応を心掛けていますか。
9. 「だめ！」「いけません！」などの制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか。また、子どもの気持ちを受けとめ、共感することの大切さを忘れない保をしていますか。





## (2) 教育に関するねらいと内容

10.園庭遊びなど戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか。

11.保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるように配慮していますか。

12.食事の前や排泄後の手洗いの励行など、清潔の習慣が身につくように援助していますか。

13.子どもが見通しをもって、意欲的に行動できるようにすると共に快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか。

14.危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃から話していますか。

15.つまづきや葛藤、喧嘩などを子どもの育ち（発達）に欠かせないものとして捉え、適切な対応をしています。

16.困っている友だちの事を心配するなど、思いやりの心を育てる保育をしていますか。

17. 保育士は、子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、保育士のすべての言動が子どもにとってのモデルになっていることを常に意識していますか。

18.順番や約束を守るなど、決まりを守ることの大切さを園生活や遊びの中で、月齢に応じたわかりやすい言葉や態度で丁寧に知らせていますか。

19. 子ども同士が力を合わせて目標に向かって取り組む姿や、協力して遊びを展開していく姿を十分に認め、その喜びや達成感が味わえるような活動を取り入れた保育をしていますか。

20. 子ども同士が自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付けるように援助や助言を行っていますか。

21.身近な自然現象に触れ、子どもたちの「どうして?」「なぜ?」といった疑問に対して一緒に調べたり、考えたりしていますか。

22.身近な自然を通して、様々な発見や美しさや不思議さなどに気付くことができるような環境づくりをしていますか。

23.毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの位置の違いが時間などについて関心を持てるような環境構成に配慮していますか。

24.信頼できる相手に伝えたい、わかってもらいたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表現や姿を観察しながら、共感や、代弁など、その場に適した言葉がけをしていますか。

25.子どもがわからないことを尋ねたり、自分の楽しい経験を話すなど安心して話せる雰囲気を作っていますか。

26.子どもが、絵本や物語の内容を楽しんだり、共感したり自分の経験を結びつけたりと、想像をめぐらせるような読み方を工夫していますか。

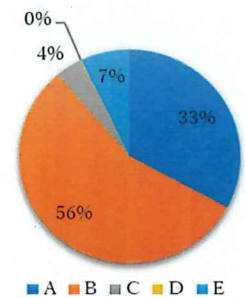
27.あいさつや、返事、「ごめんなさい」「ありがとう」などの生活に必要な言葉を自然に使えるような保育をしていますか。

28.歌ったり踊ったり体を動かしたりして音や動きの楽しさを味わい心地よさを感じる機会を作っていますか。

29.様々な音、色、形、手触り、いおい、味わいなどの五感を刺激する活動保育に取り入れていますか。

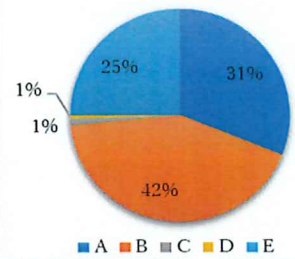
30.はさみなど、いろいろな道具の使い方を月齢に応じて、丁寧に教えたり見守ったりしていますか。

31.自由に描いたり、作ったりできるように、材料や用具を子どもたちが取り出したり出来る場所に置く工夫をしていますか。



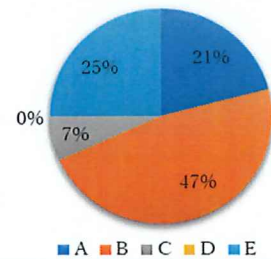
### (3) 乳児保育

1. 室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか。
2. オムツ交換は、優しく声をかけながらおこなっていますか。
3. 授乳は抱いて、目線を合わせたり、優しく声をかけながらゆったりした気持ちでおこなっていますか。
4. 一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、環境を整えていますか。
5. しぐさや声や動きを介して発する要求を察知し、タイミングよく温かな応答的な関わりをしていますか。
6. 一人ひとりの育ちやその日の様子など、職員間で連携を取り、職員全体で、見守る体制ができていますか。
7. 離乳食に関しては、発達段階、個人差などに対応し家庭と連携をとりながら、進めていますか。



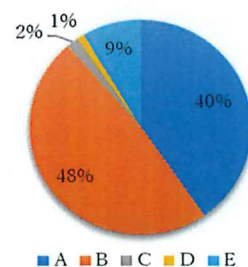
### 4章 保育の計画及び評価

1. 保育園の全体的な計画（法人理念・保育理念・保育目標・保育指針）などを理解していますか。
2. 指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明できますか。
3. 指導計画は必ず、保育園の保育計画に基づいて作成していますか。
4. 年間・月案等の長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した日案の計画に作成していますか。
5. 複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分理解した上で、月案・週案・日案などを立てていますか。
6. 保育計画が、実際の子どもの姿、心情、意欲、態度に合っているのか、自身の保育を振り返り、反省、評価をしていますか。
7. あなたの指導計画の反省・評価は次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか。
8. その日にあった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもに関わる職員や申し送りなどで、共有していますか。



### 5章 健康及び安全

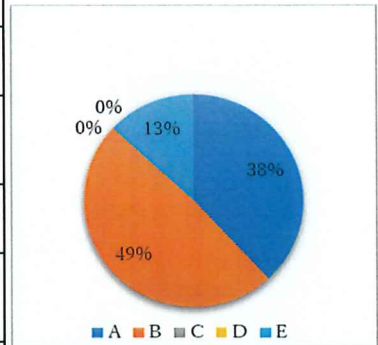
1. 子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に生かしていますか。
2. 身長・体重などの定期的な計測および、健康診断の結果を保護者に伝えていきますか。
3. 子どもが活動しやすいようにその都度、保育室の環境や温度湿度に配慮していますか。
4. 子どもが危険な場所や遊びがわかり安全に遊ぶように指導していますか。
5. 子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように雰囲気作りなど工夫していますか。
6. 自然の恵みとしての食材や、調理する人への感謝の気持ちが育つよう、心がけていますか。
7. 食物アレルギーの子どもに対して、家庭と連携しながら除去食などを配慮していますか。
8. 睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。



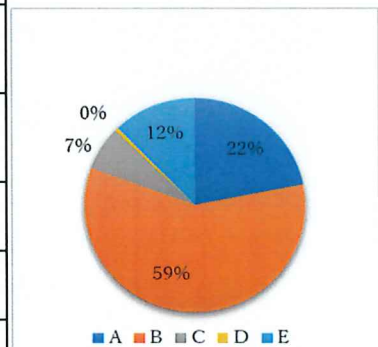


- 9.園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。
10. そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。

6章 保護者支援
1.送迎の際に、保護者と必ず挨拶や言葉を交わすようにしていますか。
2.家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方や保護者と会話をしていますか。
3.あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるように心がけていますか。
4.あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようとしていますか。
5.保護者からの相談内容を担任一人の問題にせず、クラス全体や園全体で受け止めようとしていますか。
6.あなたは、保育に関する保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育の流れの中で適切と思うものについては、園長等と話し合ったうえで受け入れるように努めていますか。



7章 職員の資質向上
1.あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。
2.あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。
3.自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすすんで整えることができますか。
4.園の内外における、研修活動及び自己研鑽により、専門性を高める努力をしていますか。
5.同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たす役割を理解していますか。
6.職員同士や保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか。
7.あなたは、創意と工夫を惜しまず、喜びや意欲をもって保育していますか。



8章 その他
1.毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するように心がけていますか。
2.子どもとよく遊び、一緒に楽しんでいますか。
3.子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、園長や主任、副主任に報告・連絡・相談をしていますか。
4.子どもの発達にあった手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れていますか。
5.子どもの名前は、呼び捨てやニックネームなどでなく、きちんと名前前で呼んでいますか。
6.子どもの個人情報を適切に扱うとともに園内で知り得た事柄に対して守秘義務を遵守していますか。
7.帳簿類は、適切に記載し、保管されていますか。

